

# 令和4年台風第8号 に関する説明会資料

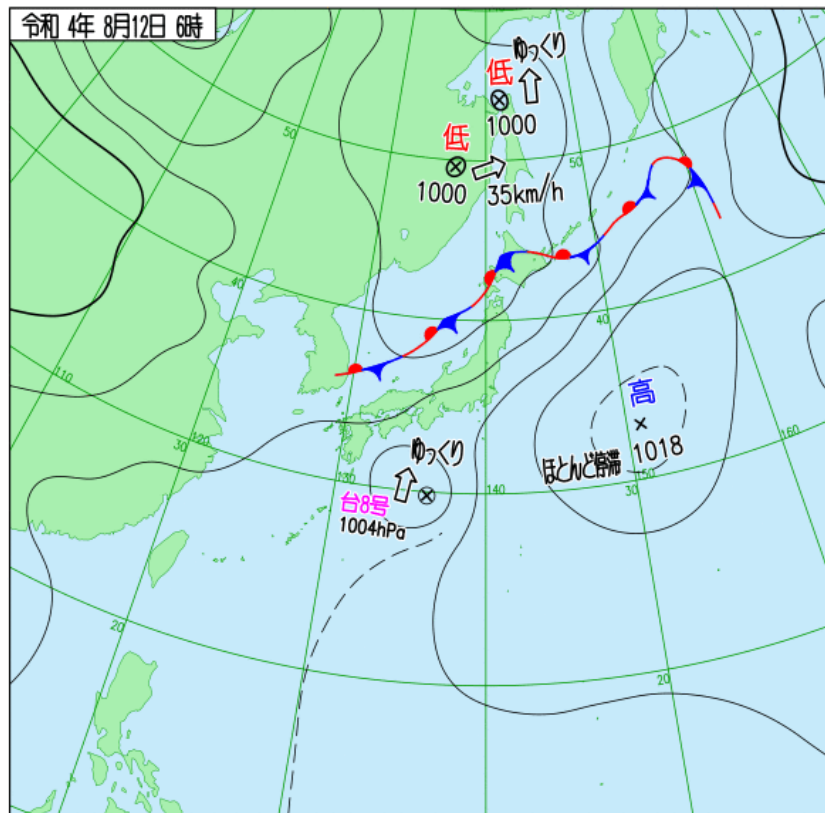
開催日時：令和4年8月12日11時30分～

開催場所：横浜地方気象台（Web開催）

# 12日6時の地上天気図

1

台風第8号は、12日9時には日本の南にあって、ゆっくりした速さで北へ進んでいます。



12日09時の実況	
種別	台風
大きさ	-
強さ	-
存在地域	日本の南
中心位置	北緯30度10分 (30.2度) 東経136度10分 (136.2度)
進行方向、速さ	北 ゆっくり
中心気圧	1004 hPa
中心付近の最大風速	18 m/s (35 kt)
最大瞬間風速	25 m/s (50 kt)
15m/s以上の強風域	南東側 330 km (180 NM) 北西側 220 km (120 NM)

# 台風第8号の進路予想

## < 台風の予想 >

台風第8号は日本の南を北上し、今後次第に進路を北東へ変え加速しながら進み、勢力を維持したまま、13日昼過ぎから夕方にかけて神奈川県にかなり接近する見込み。その後、台風は更に加速しながら日本の東を北東へ進み、15日までに温帯低気圧に変わる見込み。

## < ポイント >

台風第8号は、13日昼過ぎから夕方にかけて最接近。昼まえから激しい雨が降り出し、海上では朝から強い風が吹き、うねりを伴ったしけとなる見込み。台風の接近に伴い、急激に雨や風が強まるおそれあり。

### 2022年08月12日09時

13日09時の予報	
種別	台風
強さ	-
存在地域	御前崎の南西約90km
予報円の中心	北緯34度00分 (34.0度) 東経137度30分 (137.5度)
進行方向、速さ	北北東 20 km/h (11 kt)
中心気圧	1002 hPa
中心付近の最大風速	18 m/s (35 kt)
最大瞬間風速	25 m/s (50 kt)
予報円の半径	95 km (50 NM)



15日09時の予報	
種別	温帯低気圧
強さ	-
存在地域	千島近海
予報円の中心	北緯47度10分 (47.2度) 東経152度20分 (152.3度)
進行方向、速さ	北北東 45 km/h (24 kt)
中心気圧	998 hPa
最大風速	20 m/s (40 kt)
最大瞬間風速	30 m/s (60 kt)
予報円の半径	260 km (140 NM)

14日09時の予報	
種別	台風
強さ	-
存在地域	宮古市の東約250km
予報円の中心	北緯39度05分 (39.1度) 東経144度50分 (144.8度)
進行方向、速さ	北東 35 km/h (19 kt)
中心気圧	1002 hPa
中心付近の最大風速	18 m/s (35 kt)
最大瞬間風速	25 m/s (50 kt)
予報円の半径	165 km (90 NM)



※台風の中は必ずしも予報円の中心を結ぶ線に沿って進むわけではありません。

警戒事項：高波

注意・警戒事項：大雨（土砂災害、低い土地の浸水）、洪水

注意事項：強風、雷（落雷や竜巻などの激しい突風）

## < 警報発表の見通し >

可能性 [高]

13日昼過ぎまでに： [三浦半島の東京湾側] 波浪警報

可能性 [中]

13日昼前から夜のはじめ頃にかけて

： [全域] 大雨警報（土砂災害）・大雨警報（浸水害）・洪水警報

13日昼過ぎから夜のはじめ頃

： 相模湾 波浪警報

また、台風接近により、さらに潮位が高まる場合は、高潮注意報を発表する可能性もあります。

# 防災事項バーチャート

13日は、高波に警戒が必要です。また台風の今後の発達程度や進路によっては、大雨、洪水にも警戒が必要となるおそれがあります。

		12日					13日							
		9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時
		昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く
台風最接近											再接近	再接近		
最大1時間降水量 (ミリ)	東部	10	10	10	10	10	10	10	15	30	40	40	30	20
	西部	10	10	10	15	20	20	20	20	40	40	40	30	20
大雨(土砂)	東部													
	西部													
洪水	東部													
	西部													
雷	東部	注	注	注	注	注	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻
	西部	注	注	注	注	注	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻	竜巻
強風 (メートル)	陸上	10↑	10↑	10↑	10↑	10↑	10↑	10↑	10↑	10↑	12↑	14↑	14↑	12↗
	海上	12↑	12↑	12↑	12↑	12↑	13↑	13↑	15↑	15↑	17↑	18↑	18↑	15↗
波浪 (メートル)	東京湾(横浜・川崎)	1	1	1	1	1	1	1	1.5	1.5	1.5	2	2	1.5
	東京湾(三浦半島)	2	2	2	2	2	2	2	2.5	2.5	3	3	3	2.5
	相模湾	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	3	3	4	4	4	3

警報級 注意報級

早期注意情報[中]: 台風の進路や発達によっては警報級となる可能性のある期間

※「最大1時間降水量」の着色は、大雨注警報(浸水害)の目安

※雷注意報については竜巻などの激しい突風のおそれがある時に「竜巻」と表示

13日12時までに予想される24時間降水量は、多い所で

東部 60ミリ

西部 80ミリ

14日12時までに予想される24時間降水量は、多い所で

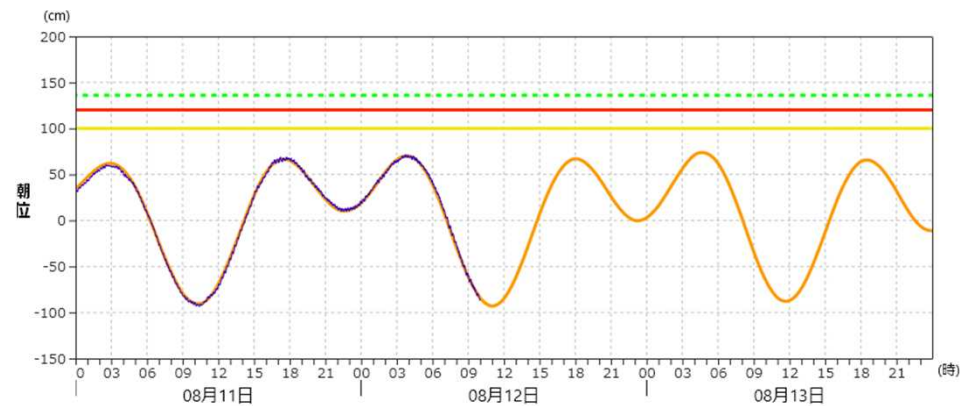
東部 50～100ミリ

西部 100～150ミリ

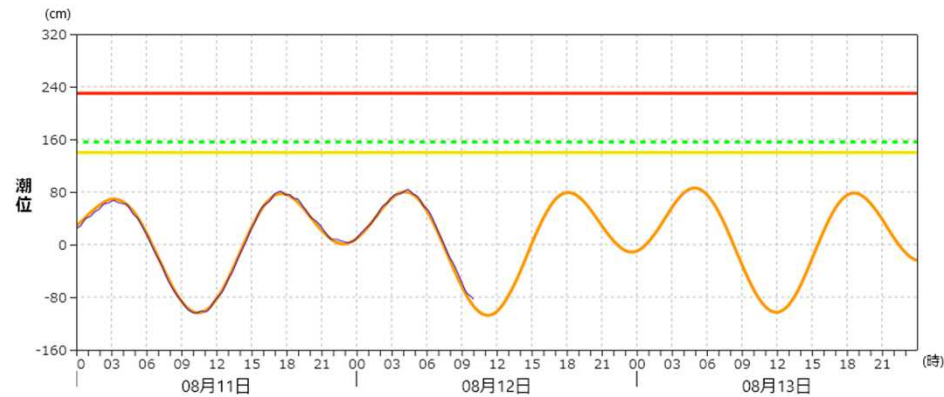
# 満潮の時刻と高潮の予想

神奈川県では、13日の18時頃に満潮となります。  
現在、高潮の注意報基準には達しない見込みですが、今後の情報にご留意ください。  
(大潮期間 12日～14日)

## 油壺



## 横浜



実際の潮位	—	高潮注意報基準	—	注意期間	—
天文潮位	—	高潮警報基準	—	警戒期間	—
注意警戒期間の予想最高潮位	—	予想されるピーク時刻	★	警戒期間(特別警報)	—
過去最高潮位(156cm:2017年10月23日06時43分:台風第21号)	-	—	—	—	—

- 台風情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>

- 神奈川県気象情報

[https://www.jma.go.jp/bosai/information/#area\\_type=offices&area\\_code=140000&format=table](https://www.jma.go.jp/bosai/information/#area_type=offices&area_code=140000&format=table)

- 神奈川県の警報・注意報・早期注意情報（警報級の可能性）

[https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area\\_type=offices&area\\_code=140000&lang=ja](https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area_type=offices&area_code=140000&lang=ja)

- 雨雲の動き（高解像度降水ナウキャスト）

<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/#zoom:8/lat:35.380093/lon:139.449463/colordepth:normal/elements:hrpns&slmcs>

- キキクル（危険度分布）

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/zoom:8/lat:35.380093/lon:139.449463/colordepth:normal>

# (参考) 台風情報について

## 台風情報の内容

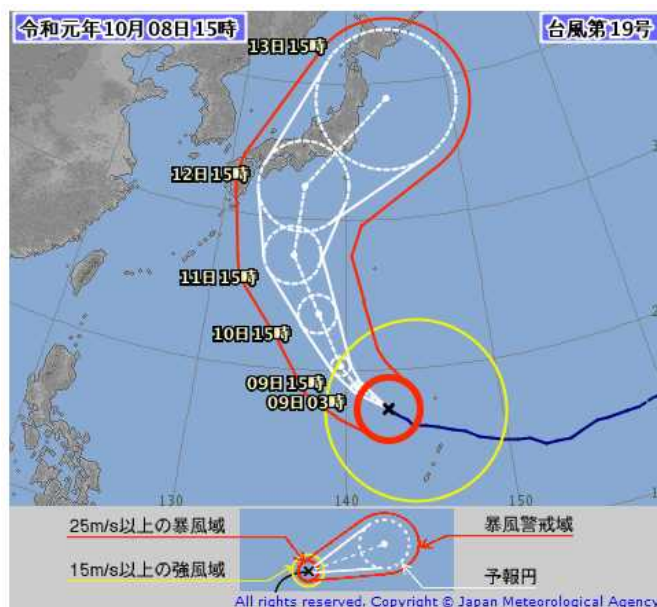
内容	発表時間	予報時間	発表要素
実況	0時、3時、6時、9時、12時、15時、18時、21時の約50分後※3		中心位置、進行方向・速度、中心気圧、最大風速、最大瞬間風速、暴風域、強風域
	毎正時の約50分後※1,3		
1時間後推定※1	毎正時の約50分後※1		
1日（24時間）予報	0時、3時、6時、9時、12時、15時、18時、21時の約50分後※3	12時間先※2、24時間先	予報円の中心・半径、進行方向・速度、中心気圧、最大風速、最大瞬間風速、暴風警戒域
		24時間先まで3時間毎※1	
5日（120時間）予報	3時、9時、15時、21時の約50分後※3	5日先まで24時間毎	

※1 台風が日本に接近し、影響のおそれがある場合に発表

※2 台風の動きが遅い場合は省略

※3 発達する熱帯低気圧や台風が複数存在するときは約70～90分後になることがある

### 【過去の発表例】 台風情報（実況と5日先までの予報）





## (参考) 雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく		ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる		道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴォーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じず				

(注1) 大雨によって災害が起こるおそれのあるときは大雨注意報や洪水注意報を、重大な災害が起こるおそれのあるときは大雨警報や洪水警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは大雨特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測・解析したときには記録的短時間大雨情報を発表します。この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。なお、情報の基準は地域によって異なります。

# (参考) 風の強さと吹き方

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	およその 時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	～50km	一般道路 の自動車	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平に なり、高速運転中では横風に 流される感覚を受ける。	種(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始め る。	高速運転中では、横風に流さ れる感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるもの がある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	～90km	高速道路 の自動車	何かにつかまっていなくて 立ってられない。 飛来物によって負傷するおそ れがある。	細い木の幹が折れたり、根 の張っていない木が倒れ始 める。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが 困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの がある。 固定されていないプレハブ小屋が移 動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。	40
	25以上 30未満	～110km						
猛烈な風	30以上 35未満	～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるもの がある。 ブロック壁で倒壊するもの がある。	走行中のトラックが横転する。	固定の不十分な金属屋根の葺材が めくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	50
	35以上 40未満	～140km					外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。	
	40以上	140km～					住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。	

(注1) 強風によって災害が起こるおそれのあるときは強風注意報を、暴風によって重大な災害が発生するおそれのあるときは暴風警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは暴風特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合等は3倍以上になることがあります。

(注3) この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。

1. 風速は地形や周りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。
2. 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
3. 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。今後、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

## (参考) 波の高さについて

波浪予報などで使われている波高（波の高さ）は、有義波高と呼ばれる波の高さです。これは、ある点を連続的に通過する波を観測したとき、波高を高い順に並べ直して全体の1/3までの波の高さを平均した値です。目視で観測される波高はほぼ有義波高に等しいと言われており、一般に波高と言う場合には有義波高を指しています。

同じような波の状態が続くとき、100波に1波は有義波高の1.5倍、1,000波に1波は2倍近い高波が出現します。また、確率としては小さいのですが、台風によるしけが長引くほど「三角波」「一発大波」などと呼ばれる巨大波が出現する危険性が増すため、十分な注意が必要です。

なお、気象庁では波の高さを説明する際には、4 mから6 mの波を「しけ」、6 mから9 mの波を「大しけ」、さらに9 mをこえる波を「猛烈なしけ」と呼んでいます。

波浪表

用語	波高(m)
おだやか	0から1/10まで
おだやかなほう	1/10をこえ1/2まで
多少波がある	1/2をこえ1 1/4まで
波がやや高い	1 1/4をこえ2 1/2まで
波が高い	2 1/2をこえ4まで
しける	4をこえ6まで
大しけ	6をこえ9まで
猛烈にしける	9をこえる